

# 県民の安心・安全を守り、警察本部機能を常に発揮できる「剛」と「柔」を合わせ持つ庁舎を実現します。

## 業務の理解度及び取組意欲

### 警察機能を最大限発揮する3つの重点項目

多様化する犯罪に常に即応し、防災拠点となる警察本部特有の課題を普遍的な強さである「剛」としなやかさである「柔」の融合により、解決するための3つの方針を提案します。

1 災害時にも業務を継続し、かつ迅速に対応する **防災性**  
▶ 安全性を最大化するブレース入り地震構造

2 部署間の連携強化や独立性、将来の更新に応える **柔軟性**  
▶ 明快な動線と自由度の高いL字型執務室

3 侵入者の抑止、捜査情報や個人情報を守る **セキュリティ**  
▶ 強固さと使いやすさを両立する5段階のセキュリティ計画

### 円滑な意思決定を促す提案型の資料作成と情報管理

論点が明確な図表や比較検討、BIMによる三次元表現で分かりやすい資料を作成し、関係各課との早期の意思決定が行えるよう明快さを意識した資料作成を行います。

・社内サーバーの強固なアクセス権の設定やメール添付の禁止、専用サーバーにて暗号化し送付します。また受領資料は即電子化し、溶解処理を行い守秘を徹底します。

### 3つのモードで要望・更新に柔軟に 대응するL型平面

多くの関係部署に対応する「柔軟な平面計画」を特に重視し業務に臨みます。  
・廊下をコンパクトな回遊動線で計画し、執務室端部に階段、中央部にEVを配置することで迅速な業務遂行・連携強化を可能にします。執務室は将来の部署変更への自由度が高い連続したL型平面、外壁面を横連窓とした均質な構成とします。  
・3つのモード「小割」、「共用拡張」、「大部屋」により、セキュリティを確保しつつ、個別運用や警察庁舎特有の大小様々な所属室をレイアウトしやすく、近接すべき部署間の連携や区画に対応し、適切な幅と奥行の室計画を可能にします。

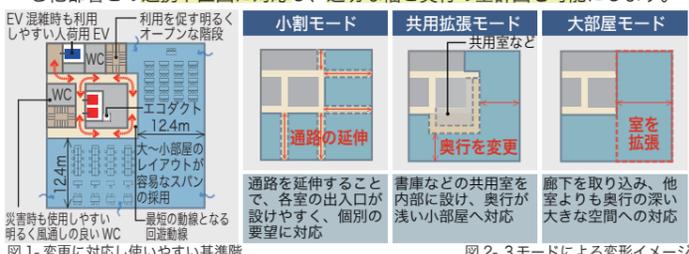


図1-変更に対応しやすい基準階 図2-3モードによる変形イメージ

## 業務の実施方針

### 豊富な経験と実績を有する設計チーム

・実績豊富で高い専門性を有する組織設計事務所と広島県の気候・風土・地域性を熟知する市内設計事務所が協働し、クラウドBIMの活用や免震・脱炭素化などの技術を共有し、広島に根ざした活動拠点を活かして迅速かつ綿密に対応します。

・平面案提出から決済（R7.4～8）の期間は重点的に総合主任担当技術者がヒアリングシートを管理し、他担当者との調整、図面への反映を管理します。

・解体・建設中も西館の運用を妨げないよう、専門支援チームと協働して仮設計書の検証を行います。

### 2段階の基本設計による課題・コストの管理

・基本設計は条件と課題を共有する期間と仕様を決める期間に分け、課題・期日を明確化した課題リストにより、手戻り無く確実に業務を完了します。

・工事費の高騰を踏まえ、改善効果が高い初期段階から段階的に概算工事費の確認を実施し、クリティカルなスケジュールとコストを共有し進めます。

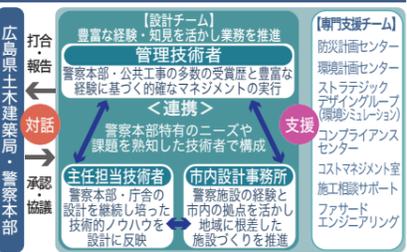


図3-チーム体制 図4-クリティカルとコストを共有する業務フロー

## テーマ1「警察機能を発揮させる機能的な施設づくり」についての提案



図5-配置計画

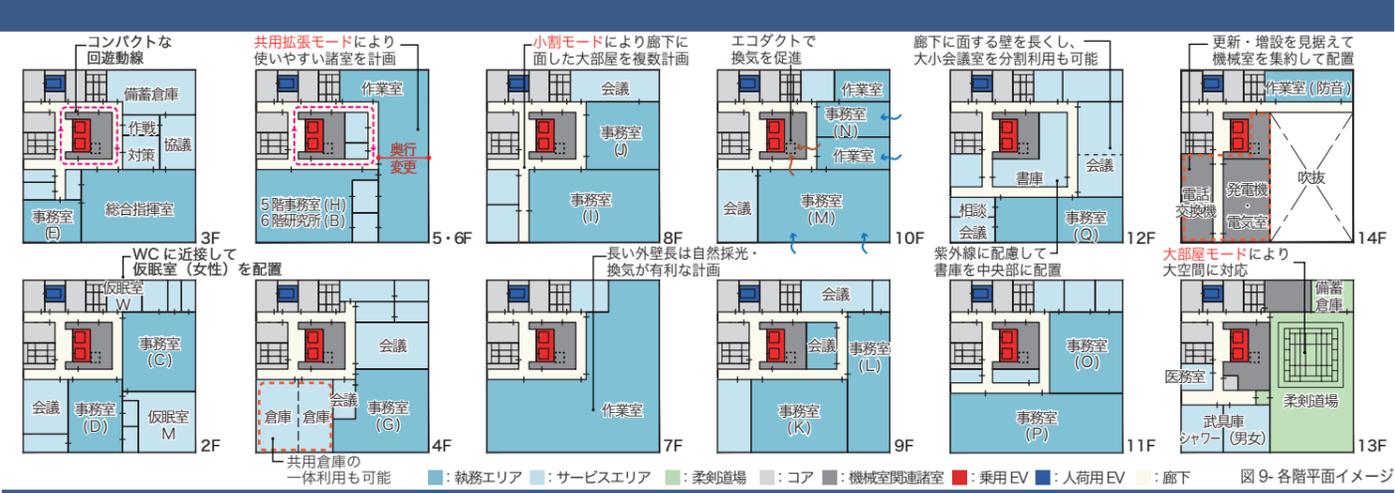
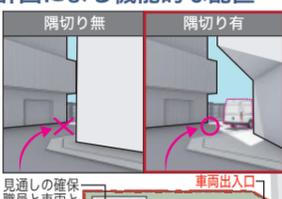


図9-各階平面イメージ

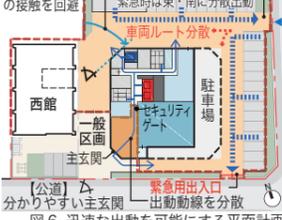
## 高い機動力と明快なセキュリティ計画による機能的な配置

・南西側に一般来庁者ゾーンをまとめコンパクトなセキュリティ計画を形成します。  
・1階の4階は階切りが視認性を高め、より車両の機動力を向上し、車道の職員安全を確保します。主玄関は公道側に顔を出し、来庁者に分かりやすい計画とします。  
・職員出入口は分散して北側2箇所、南側は主玄関とし、スムーズな出動を可能にします。



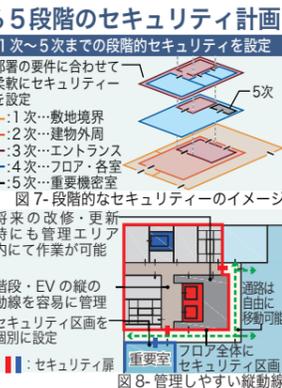
## 迅速かつ安全な車両運用を実現

・北東側に車両出入口を設け、来庁者との交錯を回避し、警察車両ルートを中心に分散することで高い機動力を確保します。  
・緊急時は北側の車両は車両出入口から、東側の車両は緊急用出入口から出動し、合流することなく迅速な出動を可能にします。  
・立体駐車場はコンパクトな独立棟とし、機動力と新庁舎計画の自由度を高めます。



## 強固さと職員の使いやすさを両立する5段階のセキュリティ計画

・段階的にセキュリティレベルとシステムのグレード（カード・テンキー・生体認証）を適切に設定し、運用とセキュリティを両立します。  
・敷地境界際にカメラや赤外線による囲封措置を施し死角を作らず、侵入を抑制します。  
・エントランスのセキュリティゲートは、オープンカウンターごとに職員が監視できる位置に設け、不用意な立ち入りを阻止します。  
・EVや階段の縦動線エリアをまとめ、部署間でも秘匿性が守られるフロア全体のセキュリティ設定を可能にします。  
・4・5次セキュリティはセキュリティ扉の設定により、フロア全体や特定室などフレキシブルなセキュリティ設定に対応します。



## テーマ2「万全な防災対策による安全な施設づくり」についての提案

### ブレース入り地震構造による安全性・柔軟性・経済性の高い防災拠点の整備

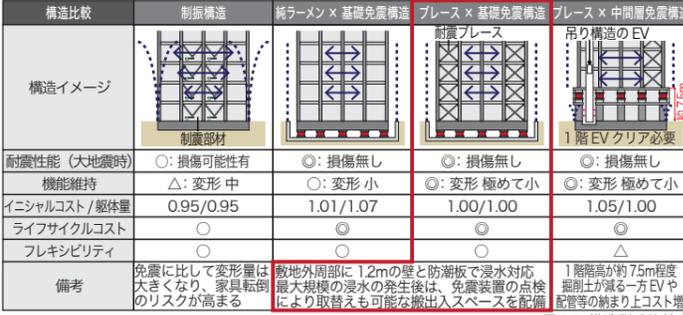
・耐震、制振構造と比較して、抜本的な安全性を確保できる基礎免震構造を採用し、大地震による天井落下や家具の転倒がない防災拠点とします。  
・執務室は自由度が高く、部署配置の要望や改修に柔軟に対応可能な無柱空間とします。鉄骨造により、ロングスパンを経済的に実現します。  
・耐震ブレースをバランスよく設けて地震時の水平変形・ねじれ変形の抑制、柱・梁のサイズダウンを図り、純ラーメン構造と比較して鋼材量を7%削減し、経済的な架構とします。

### インフラの多重バックアップによる確実な業務継続

・非常用発電機は72時間分の燃料を備蓄し、設備の稼働率を抑えたローエネルギーモード時には最大7日間の発電を可能にします。  
・上水・雑用水を7日分備蓄し、緊急用汚水槽と組み合わせ、インフラ途絶時にも水回りの継続利用を可能にします。  
・給湯熱源に備蓄可能なLPガスを採用するなど、熱源の多重化を図ります。  
・自然採光・通風を確保し、発電機用燃料を無駄なく活用できる計画とします。

### 災害活動への職員の迅速な対応を庁舎全体でサポート

・機械式駐車場とセキュリティ区画内の車路には液状化対策として地盤改良を行い、災害時における職員の早期復旧対応を可能にします。  
・警察災害派遣隊や緊急援助隊の受入れに転用ができるよう、柔剣道場に情報回線、非常用電源や備蓄倉庫を備え付けます。  
・薬品やポンペを扱う室には壁下地に補強を設け、転倒を防止します。



### 減災に基づいた対策であらゆる被害を最小化

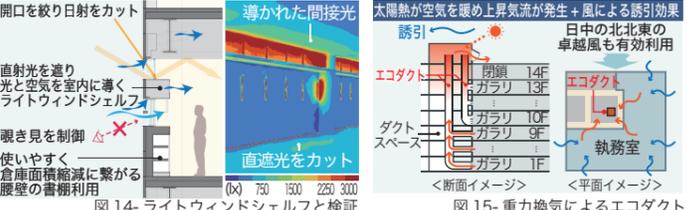
・道路境界際に1.2mのコンクリート塀と縦格子のフェンスを設け侵入・逃走防止対策を行います。門扉にも1.2mの防潮板を設け、水害時の浸水に備えます。  
・塀を道路境界から後退させ、官庁街の緑の並木道を連続させる植栽は、足元を見通せる中・高木や緑化ウォールを極力採用し、爆発物等の設置を抑制します。  
・主玄関付近にポラード（車止め）を設け、車両による突撃などのテロ対策を施します。



## テーマ3「環境に配慮した魅力ある公共建築物としての施設づくり」についての提案

### ライトウィンドシェルフが日射と視線を遮断し、光と風を享受

・開口部に設けたライトウィンドシェルフの高さと奥行きで開口を絞ることで、警察庁舎に必要な視線制御、空調負荷を低減する日射制御を両立させます。  
・高層階での突風などに配慮して、新鮮な空気を取り入れる自然換気と光を部屋奥に導く機能を融合したライトウィンドシェルフとします。  
・フロア中央部にエコダクトを設け、執務室のセキュリティを確保しつつ温度差を利用した重力換気により中間期の自然換気を実現します。



### 費用対効果の高いZEB Ready 建築の実現

・費用対効果が高い省エネルギー技術を優先して採用し、信頼性が高く汎用性があるシンプルな設備システムで将来の改修・更新を容易にします。  
・広島市の気候・風土を活かした自然換気など、各種省エネルギー技術も積極的に採用し、低炭素社会の実現に貢献する環境配慮型庁舎とします。

